

農作業コツのコツ

【第11号】

令和5年7月1日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

早生は飽水管理、中生・晩生・直播は間断かん水を徹底しましょう。

熱中症にならないよう水分と塩分を補給し、こまめに休憩をとりましょう。

水稻の生育は、概ね平年並みとなっており、葉色は平年並みからやや濃くなっています。生育状況に応じて早生品種は出穂期まで**飽水管理**を、コシヒカリやてんこもり、直播栽培は幼穂形成期頃まで**間断かん水**を行い、稲体活力の維持を図りましょう。

水稻の生育状況

(6月27日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈(cm)		株当たり茎数(本)		葉齢(葉)		葉色		幼穂形成期		
	R5	平年	R5	平年	R5	平年	R5	平年	R5	平年	R5	平年	
とみちから	5/ 1	5/ 3	63.6	61.0	31.6	26.1	11.9	11.4	4.4	4.3	6/21	6/24	
五百万石	5/ 6	5/ 3	51.5	55.3	19.9	19.0	11.9	12.1	4.4	4.3	(6/26)	6/26	
てんたかく81	5/ 4	5/ 2	56.2	56.8	23.6	29.7	11.4	10.8	4.4	4.3	6/24	6/27	
コシヒカリ	5/13	5/14	51.2	52.0	24.2	23.6	10.4	10.6	4.2	4.2	—	7/10	
てんこもり	5/12	5/ 9	43.1	44.5	35.4	34.0	11.2	11.4	4.4	4.3	—	7/13	
密苗	てんたかく81	5/ 4	5/ 3	50.6	43.1	23.4	28.5	10.5	9.9	4.2	4.4	6/26	6/26
	コシヒカリ	5/15	5/15	45.6	45.5	24.2	27.6	10.4	10.4	4.3	4.3	—	7/14
	てんこもり	5/ 6	5/ 9	41.5	41.9	31.6	35.6	11.0	11.1	4.3	4.2	—	7/15
直播	カルパーコシ	4/27	4/30	49.7	50.9	226	177	10.6	9.9	4.2	4.1	—	7/14
	鉄コ コシ	5/ 3	4/30	42.5	45.3	181	169	9.6	9.8	4.4	4.3	—	7/17
	鉄コ てんこ	5/ 1	4/30	36.9	38.0	213	195	10.4	10.4	4.5	4.4	—	7/21

※てんたかく81の平年値はR4年の値、
直播の田植日は播種日、株当たり茎数はm当たり茎数

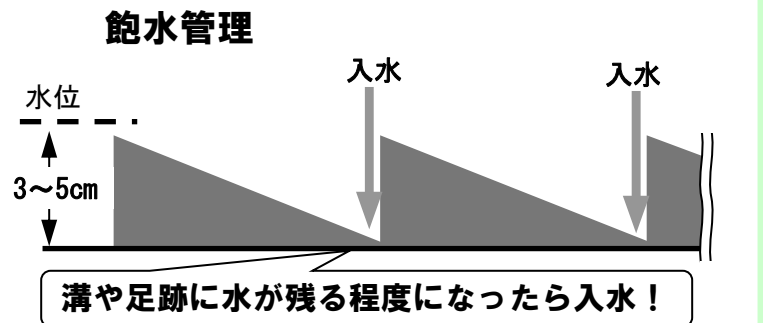
コシヒカリ(慣行苗のみ)3筆、直播(カルパー)1筆、他2筆

水稻

1 水管理

(1) とみちから、五百万石、てんたかく81

- ①溶出された穂肥成分を効率的に吸収し、稲体の活力を維持するため、出穂期まで足跡に水が残る程度の**飽水管理**を行いましょ。
- ②五百万石で葉色が濃いほ場では、過剰着粒を防ぐため、7月上旬頃まで**間断かん水**を継続しましょ。



(2) コシヒカリ、てんこもり、直播

- ①**間断かん水**を行い、幼穂形成期までに足が3cm沈む程度の硬さに仕上げましょ。
- ②てんこもりは、葉色が4.0を下回らないよう干しすぎに注意しましょ。
- ③茎数が過剰または葉色が濃いほ場では、**落水期間**がやや長めの**間断かん水**を行いましょ。



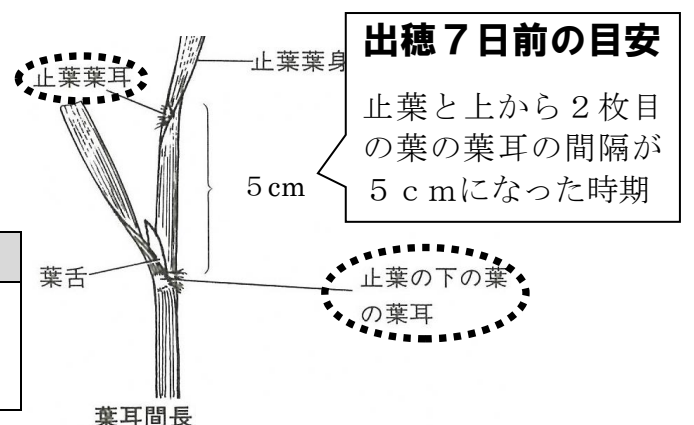
2 穂肥施用

(1) とみちから、五百万石、てんたかく81

肥効調節・分施肥系ともに、出穂7日前に葉色を確認し、葉色が極端に淡い場合は出穂3日前までに**追肥**を行い、登熟能力の向上を図りましょ。

○早生品種の追肥施用の目安

品種	葉色確認	葉色	施用量
とみちから	7月6日頃	4.5以下	追肥3号 10kg/10a
五百万石	7月8~10日頃	4.2以下	
てんたかく81		4.0未満	



(2) てんこもり

肥効調節・分施体系ともに、幼穂形成期前に**葉色4.0**を下回る場合は、直ちに**追肥3号**で10a当たり**11kg程度施用**しましょう。

3 病害虫防除

(1) 畦畔等の草刈り

- ①水田周辺の雑草地等では斑点米カメムシ類が平年並みに多く確認されています。畦畔等の**草刈り**を徹底し、カメムシ類の発生量を少なくしましょう。
- ②雑草の穂がカメムシ類の繁殖場所となるため、一斉草刈り後は草の穂が出ないようにこまめに草刈りを行いましょう。
- ③本田内のノビエやホタルイは、カメムシ類による被害を助長するので、除草に努めましょう。

一斉草刈り日 7月1日(土)、2日(日) 【草刈り運動期間 7月1日～10日】

(2) 随時防除

葉いもち、紋枯病の病斑や葉を食害する害虫を発見したら、早期に防除しましょう。

- ①**イナゴ類**の発生が多い場合は、若齢幼虫期(6月下旬～7月上旬)に防除を行いましょう。
- ②茎数がやや過剰なほ場では**紋枯病**の発生が懸念されます。現在、早生品種は防除適期(出穂14日前頃)になっており、発生が見られたら速やかに防除しましょう。
- ③**稲こうじ病**の常発地では、出穂10日前までに薬剤を散布しましょう。

○随時防除の目安

病害虫	防除薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a 当たり散布量
葉いもち	ブラシン粉剤DL	発生をみたら直ちに	収穫7日前まで	2回以内	3～4kg
	ブラシンフロアブル				1,000倍で60～150l
紋枯病	バリダシン粉剤DL	穂ばらみ期	収穫14日前まで	5回以内	4kg
	バリダシン液剤5				1,000倍で60～150l
稲こうじ病	Zボルドー粉剤DL	穂ばらみ期まで	出穂10日前まで	—	4kg
	トライフロアブル		収穫14日前まで	2回以内	1,000倍で60～150l
イナゴ類(若齢)	トレボン粉剤DL	直ちに	収穫7日前まで	3回以内	4kg

※無人航空機での防除

病害虫	防除薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a 当たり散布量
葉いもち	ブラシンフロアブル	発生をみたら直ちに	収穫7日前まで	2回以内	8倍で0.8l
稲こうじ病	トライフロアブル	穂ばらみ期まで	収穫14日前まで	2回以内	8倍で0.8l
イナゴ類(若齢)	トレボンエア	直ちに	収穫14日前まで	3回以内	8倍で0.8l

※詳しくは、「営農とくらし」P52～53を参照してください。

大豆

1 培土

生育量の確保と雑草の抑制のため、**培土**は確実に2回行いましょう。

2 雑草防除

- (1) 培土後に雑草が残った場合は早めに除草剤を散布しましょう。
※培土前に雑草が多発している場合やほ場が軟らかく培土できない場合は、培土前に除草剤を散布しましょう(※「営農とくらし」P91参照)
- (2) 多量の降雨が予想される場合は、除草剤の使用は避けましょう。

3 溝の手直し

降雨の後に溝に水が停滞している場合は、**溝の手直し**や**排水口の掘り下げ**を行いましょう。

リアルタイムに情報をお伝えするため、電子メールによる情報提供を行っています。右のQRコードから登録画面に進めます。詳細はJA福光までお問い合わせください。

